

## 《ワルツ(変ホ長調)》<sup>1</sup>

水谷 彰良

ワルツ(変ホ長調) *Waltz*

作曲 1823年?

初演 不明

編成 ピアノ

演奏時間 不明(異稿は約1-2分)

自筆楽譜 未発見もしくは未確認。なお、同じ主題を用いた5種の自筆楽譜の異稿がある(ファクシミリのみ含む。解説参照)

初版楽譜 なし(3種の異稿の初版楽譜は解説参照)

現行譜 なし(3種の異稿については解説参照)

全集版 未成立

構成 不明(変ホ長調というのみ)

### 解説

Gossett-2001<sup>2</sup>が「ワルツ、変ホ長調、ピアノ」として挙げている楽曲で、作曲年の「1823年?」に関してはラディチョッティ『ロッシーニ伝』第3巻の記述に基づく。そこでは1823年にヴェネツィアで作曲し、バルバリア家の歓待に感謝してフランチェスカ・バルバリア夫人(Francesca Barbaria)に贈られ、自筆楽譜がヴェローナ在住のバルバリア夫人の子孫の所蔵とされる<sup>3</sup>。自筆楽譜の所在は確認されないが、ラディチョッティは確かな情報を得ていたと思われ、同じ主題を用いた5種の自筆楽譜の異稿の原点と推測される。

筆者(水谷)の確認しえた自筆楽譜は、次の5種である。

- (1) フォルリのピアンカステッリ財団所蔵の自筆楽譜(CR.406.294)——全8小節。「Pian Forte」「変ホ長調、3/4拍子、ヴィヴァーチェ」「G.Rossini」「ボローニャ、1840年8月28日」とある。
- (2) 『ルヴェ・エ・ガゼット・ミュージカル・ド・パリ』(第8年、1841年)掲載の自筆楽譜ファクシミリ——「Valz - Composto par G. Rossini.」と自筆で記載。変ホ長調、3/4拍子。速度表示なし。全54小節。
- (3) フォルリのピアンカステッリ財団所蔵の自筆楽譜(CR.406.309)——自筆献辞の記載は「Gioachino Rossini / alla N./ La Sig.<sup>ra</sup> Elena Bandiera Nata Ricci」「フィレンツェ、1849年10月1日」。変イ長調(実質的に変ホ長調)、3/4拍子、ヴィヴァーチェ。全75小節。初版楽譜はマルコ・ソッリーニ編で2002年に出版(a cura di Marco Sollini, *Giacchino Rossini Inediti e rarità rossiniane III*, Boccaccini & Spada editori, Roma, 2002., pp. 2-3.)。
- (4) フランス国立図書館所蔵の自筆楽譜(a)——自筆献辞記載は「Alla carissima Eugenia Puerati」「il Suo candidato estimatore」。変ホ長調、3/4拍子。速度表示なし。全81小節。初版楽譜は2002年に出版(同前 pp.4-5)。
- (5) フランス国立図書館所蔵の自筆楽譜(b)——自筆献辞記載は「À M.me Charles de Rothschild」。変ホ長調、3/4拍子。速度表示なし。全52小節。初版楽譜は2002年に出版(同前 pp.6-7)。

推薦ディスク：前記(3)(4)(5) Marco Sollini (pf)  
(2001年録音 Chandos 10190及び10387)



<sup>1</sup> 初出は『ロッシーニアーナ』第35号所収「ロッシーニ全作品事典(30) ロッシーニの器楽曲②」。HP用の改訂版、2015年4月。  
<sup>2</sup> *The New Grove Dictionary of Music & Musicians*, 2-ed., Macmillan, 2001. 所収のフィリップ・ゴセット(Philip Gossett)によるロッシーニ作品  
<sup>3</sup> Giuseppe Radiciotti, *Gioacchino Rossini Vita documentata opera ed influenza su l'arte*, vol. III., Arti Grafiche Majella di Aldo Chicca, Tivoli, 1929., p.252.